

明智光秀公ゆかりの伝記



土岐明智氏と常盤姫伝説

約700年前土岐頼兼の後室に明智の豪族の娘、「常盤姫」が嫁いでいましたが、臣下の嘲笑を受けたので、土岐川淵に身を投げられました。姫は守仏として観音像を抱いており、観音像は臣下によって姫の出生地、明智地内の的場に祀られ、光山寺として供養されてきたという伝説が残っています。その後この地で明智光秀公が誕生したと伝えられています。観音像は、現在も地域住民によって守られています。

室町幕府と明知遠山氏との関係をひもとく

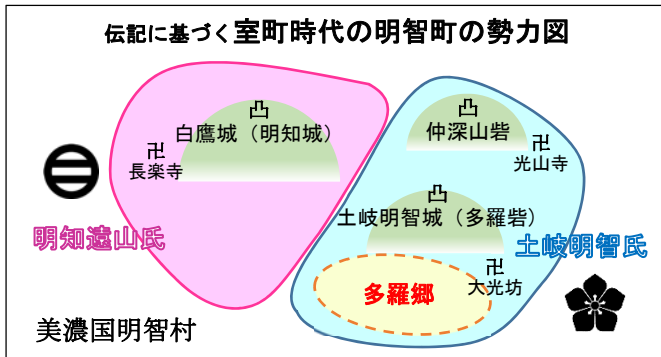
南北朝時代に明知遠山氏は、足利尊氏の傘下に入り活躍したため、その功績として、足利家の丸に二つ引両の家紋を（以前は六本格子の家紋を使用）授かったとされています。それ以後、明知遠山氏は、その家紋を使用しています。室町幕府との密接な関係があったことが伺えます。

明智と明知はいかにしてできたか

足利幕府からの安堵状には、遠山庄明智村や明智遠山景保といった「明智」の字が見られますが江戸時代になると「明知」とされていき、明知遠山氏と名乗っていました。これは本能寺の変を境に追求を恐れ、明知としたのではないかと伝えられています。昭和の合併時に、今の明智町に戻されています。

多羅砦の謎

明智町には田良子（たらご）という地名がありますが、江戸時代的美濃国繪圖には、多羅子と記されています。また、それ以前は、多羅郷と呼ばれていたとされています。明智光秀公は、美濃国多羅砦で生まれたという伝承も残っています。



- ◆他にもある伝承とゆかりの地
 - ・安住寺須弥壇の桔梗紋
 - ・御弥勒堂の社寺幕と浄水鉢の桔梗紋
 - ・於牧の方の縁戚と朝倉家との関係 など



光秀まつり

毎年5月3日に開催される「光秀まつり」は、昭和47年から開催されています。明智光秀公生誕の地として、名将光秀公を偲び、勇壮な武者行列が繰り出されます。地元、明智小6年生の少年少女が扮する武者・姫君や前厄の青年が山車を引き、明智光秀公の偉功を今に伝えます。

書籍の発売について

明智光秀公出生の謎に迫る。明智町で初の書籍を発売。

◆タイトル◆
『明智光秀』東美濃物語
～光秀45の謎～

籠橋一貴 著
恵那市観光協会明智支部 発行
1,700円（税別）



(一社) 恵那市観光協会 明智支部
〒509-7792 岐阜県恵那市明智町 843 番地 1 (明智振興事務所内)
TEL : 0573-54-2111 FAX : 0573-55-3010

恵那市明智町

明智光秀公ゆかりの地

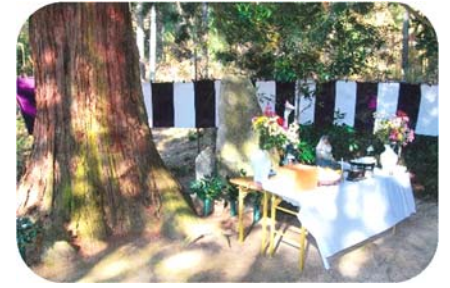


明智光秀公ゆかりの地マップ (恵那市明智町)



④ 明知遠山氏の墓地にある如意輪観音菩薩像

龍護寺にある明知遠山氏代々の墓地には、二座の如意輪観音菩薩像が建てられています。左側の像は、遠山伊次公の後室「涼光院」の像で丸に二つ引両の紋がつけられ、右側は2代にわたり大奥の老女となった遠山景達公の娘「岩岡局」の像で、丸に桔梗紋がつけられています。明知遠山氏と土岐明智氏の深い関わりを示す桔梗紋が用いられています。



⑤ 明智光秀公供養塔

遠山家の菩提寺である龍護寺に、明智光秀公の供養塔があります。光秀公に関する碑は、「その悲痛な思いで」ことごとく割れるといった通説どおり、斜めに大きくひび割れが入っています。毎年5月3日には、光秀まつりとあわせて、明智光秀公供養(仏事)が行われています。

⑥ 明智光秀公ゆかりの九条衣の袈裟

「その昔、ある夜、落武者が訪れ、無念の主君光秀公の直垂(ひたたれ)を持参し永代供養を請うて去った。」それ以来、九条衣と呼ばれる袈裟の四隅にこの光秀公の直垂の布が縫い込まれ、龍護寺の寺宝として伝えられています。(非公開)

- 恵那南高校
- 明智中学校
- 明智小学校



③ 柿本人麻呂社と明智光秀公手植えの楓

万葉の歌人、柿本人麻呂を祭神とする社殿。伝承によれば、文武を志す明智光秀公が学問所には天神を八王子神社には人麻呂を祀り、社前に紅葉(楓)を植えたといわれています。この社殿には明智氏の家紋である桔梗紋が彫られ、大和絵風の歌聖柿本人麻呂の画像が祀られています。



● 明智こども園

市場町

如意輪観音菩薩像

柿本人麻呂社
光秀公手植えの楓

① 明智光秀公産湯の井戸

白鷹城が宝治元年(1247年)に築城される前から、この千畳敷台地に砦が築かれていたといわれています。伝承によれば、明智光秀公はこの砦で生まれ、産湯として使ったとされる井戸が残されています。



⑦ 於牧(おまき)の方の墓所

明智光秀公のご母堂、於牧の方の墓所。悲運の最期をとげた、於牧の方を偲び、里人の民が建立したとされています。将軍徳川吉宗によって制定された「公事方御定書」の翌年、1743年に建立された石塔には、当時の世評をはばかって「南無阿弥陀如来」とだけ刻まれ、樹齢400年を超える老樹「高野槇」を於牧の方にちなんで神木として今もなお崇拝しています。



於牧の方墓所

② 明智光秀公学問所と天神神社

万ヶ洞にある天神神社は、明智光秀公が若かりし頃、京都嵯峨天竜寺の雲水・勝恵という学僧を招き、ここで学問に精進したといわれています。祭神は菅原道真公であり、京都北野の天満宮からの分祀と伝えられています。



- かえでホール
- B & G 海洋センター

① 光秀公産湯の井戸

土岐明智城(多羅砦)

明智グラウンド

至瑞浪市

● 明智郵便局

● 大正村資料館

● 大正村駐車場

● 明智駅前

● 大正路地

● 大正村役場

● 八王子神社

● 龍護寺

● 光秀公供養塔

● 御陣屋敷

● 三宅家

● 白鷹城(明知城)

● 長楽寺跡

● 明智学校給食センター

● 明子山砦

● 光山寺跡

● 至豊田市

● 南北街道と中馬街道の出逢い

● 浪漫亭

● 明智振興事務所

● 断町

● 滝坂観音

● 大光坊跡

明智光秀公画像「本徳寺」蔵